

令和4年度7月例会報告

- 日時 令和4年7月27日(水)
- テーマ 涼を求めて東金ダムへ
- 集合 JR東金駅
- 集合時間 10時00分
- 参加者 25名
- 解散 14時45分
- 距離 13キロ
- 案内役 リーダー:小平 明男、サブリーダー:武関 玉城、榊原 慶子
- コース ①東金駅(WC)⇒②上行寺(WC)⇒③文化会館(WC)⇒④古山王神社⇒⑤東金ダム⇒⑥丸山公園(昼食・WC)⇒⑦日吉神社⇒⑧最福寺⇒⑨東金駅

スタートからハプニング、空白の2分間？

7月27日、30度を超える真夏日の中、歩こう会7月例会が開催されました。

今回のテーマは、「涼を求めて東金ダムへ」ということで、やってきました、東金へ。

JR 佐倉駅から成東駅経由で、9時48分に東金駅到着。ホームに降り立ったのは20名。いつもより少なめですが、真夏の例会だし、こんなものかと思い、すぐに朝礼実施場所である上行寺(じょうぎょうじ)へと向かいました…。

駅前通りをしばらく歩き、ふと東金駅の方を振り返ると、なんと参加者らしき人影が5人…??

まさか！ 次の電車は43分後のはずだが…?

しかし、この5人の方は、実はわれわれが到着したわずか2分後の9時50分に東金駅のホームに降り立っていたのです。はたしてそんなことが可能だろうか？

答えは実に簡単。5人は、反対方向(千葉駅方面から)からやってきたのです。東金駅へは、JR 佐倉駅から行くものと思い込み、5人の皆さんを置いてけぼりにしてしまったのです。

千葉駅から来られた皆さん、ごめんなさい。ということで、今回の参加人数は、25名です。



9時48分着の電車で東金駅に到着した20名

財布がない

上行寺の境内をお借りして、朝礼・準備体操を行い、東金ダムを目指し、いざ出発。
テーマが「涼を求めて」ということで、日陰を通る際は、爽やかな風が心地よい。しかし、日が当たる道は、やっぱり暑い！！ なんとか最初の休憩ポイントである東金文化会館に辿り着くが、ここで第二のハプニングが・・・。
参加者の一人の財布がない！ どうやら、途中立ち寄ったコンビニで精算の際、レジ台に置き忘れてたらしい。電話で確認すると忘れ物として保管されているとのこと。後戻りはつらいが、事務局と二人、来た道に戻るはめに。お疲れ様。



朝礼実施場所の上行寺到着

山王台公園から太平洋を望む

古山王神社の手前にある山王台公園には展望台があり、広く東金市内から、九十九里平野、太平洋を眺めることができる。千葉県の眺望100選に選ばれているこの展望台からの眺めは一見の価値あり。

展望台前のフェンスには、思いを寄せる恋人同士の名前を書いた、数多くの南京錠が付いており、どうやら、絶景を眺めながらお互いの愛を誓い合う、恋愛成就のスポットらしい。南京錠で結びつけば、絶対に離れられないということか？ 東金のカップル、恐るべし！

しばらく絶景を眺めていると、無事、財布を取り戻した二人が帰ってきて、再び、合流。お帰りなさい。



山王台展望台からの眺め

古山王神社

東金ダム(ときがね湖)を歩く

東金ダムの貯水池名は、「ときがね湖」。ダム周辺が約500年前、鵜(とき)の舞う楽園であったことから名づけられたそうです。地域の方々の貴重な憩いの場になっており、周回 3.6 キロの管理用道路は一般開放され、ウォーキング、ジョギング等に利用されています。

今回は時間と暑さの関係で、1周せずに途中で切り上げ、昼食会場である丸山公園を目指しました。ここでまたハプニングが…。

予定していたコースを急遽変更したため、住宅街で集団迷子状態になってしまいました。親切な地元の方に道順を教えてもらい、12時50分、なんとか丸山公園に到着しました。



東金ダムを歩く



丸山公園にて昼食

山王坂の切通しと権現滝

昼食後、日吉神社から表参道杉並木を通り、本日一番の絶景「山王坂の切通し」に向かいます。日吉神社の表参道約200m の両側には、樹齢350年を超える39本の大杉が立ち並んでおり、一瞬、世界遺産の熊野古道を歩いているような錯覚におちいります。ここを歩くだけでも、今日、東金に来た甲斐があった、と思えるほど心地よい！！

日吉神社から八鶴湖に通じる参道が山王坂。途中にある S 字状の切り通しは、その壁面から何層にも重なる地層の様子がうかがえます。さらに進むと左手に「権現滝」が現れます。とても小さな滝ですが、

その清らかさは神秘的。権現滝という名前は、おそらく「徳川家康 = 権現様」からきているのでしょう。
本日の集合写真は、ここで決まり！！



日吉神社杉並木の参道



山王坂の切通し

このあと、八鶴湖を通過して、最終目的地の最福寺に向かいました。

八鶴湖は、徳川家康が鷹狩りのために来訪した際の宿屋「東金御殿」の庭池として造られた人工池であり、湖畔に所在する明治期創業の老舗「八鶴亭」は北原白秋や伊藤左千夫ら多くの文人が訪れたことでも知られています。

実は、東金を歩いたのは初めてなのですが、九十九里海岸から広がる広大な平野部には良質な田園が広がり、北西部に広がる丘陵地は山武杉の森林に覆われている自然豊かな都市で、御成街道をはじめ、歴史を感じることのできる観光スポットが多い魅力的なエリアでした。

是非、また訪れてみたいと思います。 本日、リーダーを務めていただいた小平さん、サブリーダーの武関さん、榊原さん、ありがとうございました。 (報告 伊香賀)